

「節分」オニの人形を作ろう！

平成 28 年 1 月 23 日（土）9:00~13:00

教えてくださったのは、井之口 祐子先生です。

飛騨市内小学生とそのご家族の方 16 名に参加いただきました。

今回のワークショップは、クラフト紙で子どもと同じくらい
の大きさの立体的なオニの人形を作りました！



はじめに、節分と豆まきについてのお話を聞きました。節分とはもともと季節の変わり目のことを言いますが、特に春の節分は重要とされ豆まきをすることで広く知られています。諸説ありますが、昔の人はよくないことは『オニ=魔』の仕業と考え、『豆(まめ)』を『魔滅(まめ)』として豆まきをしたそうです。



井之口先生から作り方と道具の使い方を教えていただき、作業開始です！

クラフト紙に寝転がり、体の線を鉛筆で写し取り下絵を描きます。絵の具で前姿を塗り終わったら切りとり、後姿も描きます。絵の具が乾く間に昼食休憩をとり、午後からオニの絵をホチキスでとめながら中に新聞紙を詰め、立体的なオニの人形の出来上がりです！描く時に「オニの後ろ姿ってどんな風？」と悩む子もいましたが、想像を膨らませ、それぞれ個性豊かなオニを完成させました！

制作風景



制作後にはオニとお福さんが登場！みんなで豆をまいてオニを追い払い、お福さんからは福がたくさんありますようにと福豆をもらいました！

お楽しみのおやつは「豆」と「美女もち」！
美女もちきなこたっぷりでおいしかったね♪



お福さん
登場♪